

経済ボケツト

ジャーナル

経済交流をはかる神戸とワシントン

兵庫県と姉妹県州の関係にあるアメリカ・ワシントン州の経済貿易使節団(团长エバンズ知事)が第七回大阪国際見本市開催を機会に、このほど来神、神戸の経済関係者らと「兵庫・ワシントン県州経済懇談会」を開いた。

この懇談会は今後両県州が経済交流を密接にしているために開かれたもので、ワシントン州側からはエバンズ知事、ウッズ前シアトル商業会議所会頭ら十名、兵庫側からは金井県知事、有岡神戸市助役をはじめ岡崎神戸銀行頭取、外島神戸製鋼社長、山本神戸貿易協会副会長ら十四名が出席、ひざ詰めでじっくり話し合った。米西部にある同州は広大な市場を持ち日本品もかなり輸出されているところだけに今後、県下の物産もどしどし進出していくものと注目されている。

新人事で気力刷新を企める神戸経済同友会

神戸経済同友会はこのほど神戸銀行クラブで新年度第一回総会を開き役員改選



の結果、新しい代表幹事に神戸製鋼副社長市川恒雄、川崎重機社長上田将雄両氏を選任、前代表幹事の横並正一(阪東調帯社長)、小泉徳一(小泉製麻社長)両氏は総務委員に就任することになった。

かつて神戸経済同友会は大阪神港構想(ポートオーソリティ構想)を持ち出すなど活発だったが、このところ各メンバーとも不況克服や停滞に追われ活動もやのり、人間事も、新しい有力メンバーの登場となったようだ。特に市川さんは次期神戸社長の本命と下馬評の高い人で、財界における力量、人格も抜群。一方の上田さんも川崎グループの有力社長の一人で、地味だが、その才腕とねばり強さが定評のあるところ。大いに期待できる両氏である。そのほか同友会では中小企業部会長にダイエーの中心内功社長を、常任幹事に神戸フアウドラ社長の花井嘉夫氏、物価問題特別委員長に日本香料社長小野一夫氏をあてると強力な布陣を敷いている。

二十周年を機に生れ変わるセンター街

神戸の代表的な商店街である三宮センター街(長沢堅次会長)はことし二十周年を迎え、ますます活気を見せようが、さらに将来の飛躍を目ざして近代化計画を具体化することになった。

最近、三宮地区では昨年、さんちかタウンが誕生したのに続いて、そう神戸店が拡張工事を完了、またダイエーも京町筋の第三店を今秋地上九階建の「デパート・スーパ」にするなど三宮商戦が激化しているおり、放置してばかりもいられずセンター街大改造に着手することにしたわけだ。現在、関係者間で計画を急いでいるが、長沢会長らの説明によると、現センター街を六階画に分け、区画ごとに五階建のビルにする計画だという。三階には「第二センター街通り」を作る方針で、来年十二月ごろには着工、四十五年までにはビルの商店街に面目をかえらんとのこと。なにしろ

折り紙つきの商店街だけに市内各商店街にも大きな波紋を投げかけているよう

だ。神戸経済に「活」を入れるか、新しく建直される商工会議所

神戸経済界をリードする神戸商工会議所(浅田長平会頭)では四十一年度から新時代にふさわしい「商議所づくり」を進めることになった。本格化する開放経済体制の中で、これに対処するべく機能を強化、整備しようというもので、第一段階として新商工会議所の建設と中小企業対策に重点を置く方針を決めた。

新館建設は現会館が老朽化してきたため着手することになったもので用地は現神戸貿易協会(沖豊治会長)の跡を予定。四十三年度までに完成させる計画で現在、新館建設特別委員会(沖豊治委員長、玉井操、榎並正一両副委員長)で作業を進めている。地盤沈下する神戸経済界に「活」を入れてもらいたいものだ。

KOBEオフィスレディ



小林悦子(21才)

日本旅行会KK勤務

職業柄あちこち旅行に行くことが多い小林さんは各地を回って見ましたが尾瀬の景色が一番素晴らしいとおっしゃる。今は旅行シーズンで忙しくて毎日はりきって社内を動き回っている。暇な時は登山をするのが唯一の楽しみだそう。スポーツ・読書・手芸・音楽と趣味は幅広く、健康的なはつらつとしたお嬢さん。星陵高校出身。

ヴィヴィアン・リー 対 シモーヌ・シニョレ

淀川 長治

映画評論家

かつて「グランド・ホテル」は、グレタ・ガルボとジョーン・クロフォードの顔合せで人気を呼んだ。いまを去る三十四年まえのことである。この原作のヴィッキ・パウムのベスト・セラー

はその小説の面白さに加えて、ここに「グランド・ホテル」形式と称する一つのスタイルを誕生させた。それぞれの運命を持つ人間が一個所に集り、しかも前後左右お互いにかかり合って物語りが進行する。

そんな、もう忘れかけた「グランド・ホテル」スタイルを一九六五年の秋に、こんどはスタンリー・クレイマーが、キャサリン・アン・ポーターのベスト・セラー、「愚か者の船」Ship of Foolsを取りあげて、製作監督した。クレイマーは前作「おかしな、おかしな、おかしな世界」では懐しくも古きスラップスティックのカムバックをはかった映画作家である。その彼がこんどは豪華船に乗り合わせた二十人

あまりの人々の人生スケッチを取り上げたのである。これもまた、まことに懐しき映画のクラシックのカムバックである。

× × ×

外角のカーブが打てなくてクビになった野球選手テニイ(リー・マービン)。男あさが目的のくせに上品ぶって男を近づけない四十何才と自称している女メアリイ(ヴィヴィアン・リー)。

五千人の使用人を持つ身分だったのに労働者側に同情したばかりに家財を取り上げられ追放のうきめをみた伯爵夫人(シモーヌ・シニョレ)、ユダヤ人と黒人と中国人が一番嫌いだというドイツ人のリーバ(ホセ・ファラー)、ペベと呼ぶブルドッグを人間様同様に食堂に同席させる老夫婦(リリア・スカラ)、ユダヤ人ということで食堂の片隅に差別されているドイツ人(ハインツ・リューマン)、こびとということでその一家から海外旅行を強い





られているグロツケン（マイケル・ダン）。

こんな連中が、一九三三年、ドイツでヒットラーが政権をにぎっていたこの時代に、メキシコのヴェラクルスからドイツのブレーメルハーフェンへの船客として乗り合わせる。

伯爵夫人は麻薬中毒者であった。それで船医のシェーマン（オスカー・ウェルナー）が看病にあたっているうちに、この二人は真実の恋をつかみ、妻と二人の子を持つ船医は、これが実は最後の航海で、このあと街の医者として開業するはずなのに自殺する。

貴夫人ぶった、えたいの知れぬメアリイは、甲板で首に巻いた羽毛のえり巻を細い指でもてあそびながら「私は、私といっしょに雲を見る人がほしいの」。夕陽が沈んだころを見はからって、顔のシワの見えぬ自信のなから、そんな妙なことをいってタバコを手にする。すると男の誰かがそれにいそいで火をつけてくれる。けれど彼女は個室に男を誘わない。自分の年齢がこわいからである。

この船に乗り合わせたフラメンコ一座のベベ（ホセ・グレコ）は一座の女が男に誘われるのを見て見ぬふりをし、あとでその女から、しこたま金をまきあげる。一座の女がアメリカ人の職業野球選手のなれの果てのアル中のテニイに追い廻され、あげくのはてにそのジブシー女は自分の寝室の番号を教える。実は、かねて目にあまるきざな

メアリイの寝室のそれは番号である。

酒に心をまぎらせたメアリイは一人で暗い個室の中で、酔いも手伝って、鏡の中のおのれの顔に毒ついて「私だって十八歳があったのよ」そういいながら口紅を濃く塗りつけ、まゆをまぶたを好き勝手に派手に化粧してヒステリックに笑ったときもとき、酔っぱらった野球選手が勝手に這入りこんできた。そのうえう、むもいわず彼女をだきしめ寝台に押しつけた。一瞬、彼女はそれを受ける構えに出ようとうろたえた、そのとき男はビククリ仰天「しまった」という顔をした。同時に女の平手打ち、つづく手鏡の殴打また殴打また殴打。男のひたいから血が流れ、這うように逃げるアメリカ人のアル中の職業野球選手。そのあとに立ちすくむメアリイ。

× × × × ×

この映画で一番もうけたのは麻薬患者の伯爵夫人に扮したシモーヌ・シニョレと彼女と恋に落ちる船医に扮したオスカー・ウェルナー。どちらもこの作品でオスカーにノミネイトされたわけである。

配役順はヴィヴィアン・ライがトップでこれについてシニョレそしてホセ・フアーラー、リー・マービン、オスカー・ウェルナーという順になっている。よほど演技に自信がないと、かかる競演は、俳優にとってこわいにちがいない。黒白の二時間三〇分の長篇であるが、さすがに飽かせない。

● Captain Interview No. 24 = コンニチワ船長さん



キャプテンは愛妻家

シプサ号〈パキスタン共和国貨物船〉

キャプテン・ウアジール・ゴル

文・玉 奥 章

影撮・浜 岡 収

どんよりとしたうすら寒い日だった。神戸港一突A岸壁への道をたどりながら私は、この道につながる記憶をおもいおこそうとしていた。あれはたしかこのキャプテン・インタビューがはじまって三回目の時じやなかったろうか。韓国のアリラン号だったと思う。出港間際のあわただしいひとときを、なれぬインタビューに神経を使ったなあ、と回想の頭をあげると、私の視野にアリラン号の姿がとびこんできた。なんともいえないつかしき

がこみあげてくる。この調子だと神戸港を歩きまわるたびに、知合いの船にぶつかりそうだ。

パキスタン共和国のシプサ号(SIPSAH)はブルグレーの船体をもつカーゴシップ(5,576.5G/T)。その船首から船腹にかけて、ところどころベンキがはげ落ち、旅の疲れがにじんでいるかのようだ。荷役のウイチの音がかしましい。タラップをあげりきると、立派なヒゲをたくわえた精悍な感じの士官が私たちを出迎え

た。年令のほどはさだかでない。一步船内に足を踏み入れると、ゆきかう船員の中にこのヒゲの所持者の多いのにいささかおされ気味だ。作業服の下級船員にも手入れのゆきとどいたヒゲをたくわえているのが目立つ。このヒゲは、お国柄かもしれない。キャプテン・ウァーグール (Capt. Wager Gull) はなかなかの美丈夫である。

キャプテン・ルームでは、エバレット汽船(株)神戸支店海務監督の八木利明さんが、用談中だったが「さあどうぞ。私の方はよろしいですから」と席をゆずってくださった。後でわかったのだが八木さんは、十数年間現役のキャプテンとして七つの海を走りまわっていたというこの道のベテラン。キャプテン・ゴルとは、彼が最初日本へ来た時に、その夫人の写真をみせられ、写真の額布チを彼におくったことから仲良くなったという、「どういうわけですかね。妙に私とウマがあるというのですか、ウルサイぐらい私についてまわるのです」こう話す八木さんの横顔をキャプテン・ゴルは、ニコニコとしながら見つけている。私たちの注文で、背広からユニホームに着替えたキャプテン・ゴルの左胸門に、彼の勲功を物語るかのように勲章がズラリとならんでいた。「一九三〇年、英国が海軍の募集をしましたので、私は応募しネイビーになったのです、十六才の時ですよ。ネイビーには三十年六カ月いました。大尉に昇進、フリゲート艦の艦長を最後に退役しましたね。今度は陸の仕事にいたのです。そこでは社長。そして昨年六月、ナショナル、シッピング、コオボレーションに入りこの船に乗っています。私の年? ハハハ……五十二才。若い? オーイエス、永久に若いよ」

神戸には一九四五年に初訪問したが、進駐軍としての身分だった。今回の訪問は二度目。「印象深い良い港です。親しくって友情的で……。てんぶらは大好き。しかし最初はどうして箸をつかっていたのかわからず、ましてエビなど、たべ方で冷汗をかきましたよ。鉄板やきの肉もいいですね。神戸肉は評判どおりおいしいですよ」

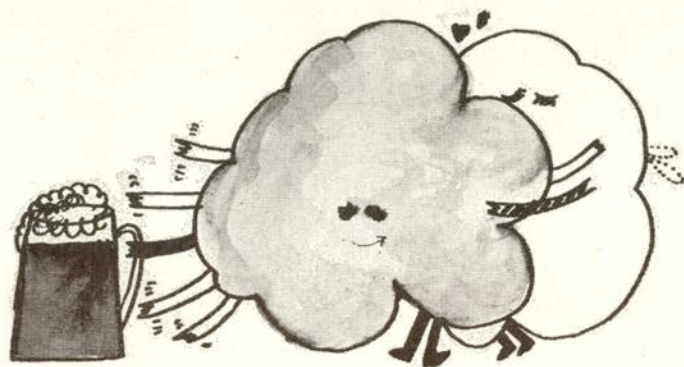
神戸港の機能は「ベリーナイス」の一語につきるとキャプテン・ゴルはいう。彼はパキスタンの北西部で生まれたが、家族は夫人と男二人女四人の子供がある。家には三人の女中がいて、パキスタンではハイクラスの部に属するそうだ。「パキスタンは平和を愛する国ですよ。しかし国民は、すべてフアイターであり英雄ばかりです。国は美しいですよ。ホントに。一度いらつしやいノ開発に努力はしていますが、これからも努力がいりますよ」

「国の未来にける情熱は、その言葉のはしばしにほとばしり、にじみでいるような話し方である。」「カラチをですと香港、上海、日本と定期航路なんです。三、四カ月で一航海。ですから次にくる時は七月から八月にかけてやってきます」趣味は電気器具をいじくるのが大好きだという。酒も強くないし、ダンスもしないという勤勉直さ。しかし彼には、それにかわる喜びを秘めていた。それは夫人との手紙の交換である。「私は妻との間に手紙のやりとりをしています、すべてナンバーをうっているのです。この航海です。私は三十四通、妻からは二十二通でした」キャプテンからのが夫人より多いのは船が港にはいる前に書いたのをだし、寄港地にきている夫人の手紙をみてまたその返事を書くから多くて当り前だそうだ。国に帰れば、お互いにナンバーをつきあわせて手紙で書けなかったことを語りあうという。全くもってむつまじい。夫人の写真を拝見したが、サリーをまとったなかなかの美人であった。話に花が咲いて、昼食時間がとくにすんでしまった。帰るという私たちを、キャプテン・ゴルはひきとめて、パキスタン料理のランチをすすめてくれた。パキスタンの米は世界一おいしいと自慢するキャプテンの顔は、イキイキとしていて実にすばらしい。談笑のいつ果てるともないままに時は移り辞去する時がきた。「ホダハハス (KHUDA HAFIZ) (親しい中でのさよならの意)」がしりと交す握手のなんと親じみのこもっていることか。出港にそなえ船はベンキでお化粧に余念がなかった。

△提供・神戸銀行▽

灯台のあるホテル

—その散策<3>—



白い小さな粒子の数々：

くちびるにつめたいーほろにがい感
触をあたえ

心の底まで夏を味あわせてくれる生
ビール

ホテルの屋上の生ビールは
△幸せ▽を語りかけているよう

テーブルのむこうペランダのコック
さんが

炭火でていねいに焼いているバーベ
キューもある

五重の石塔と緑の芝生が水銀灯に映
える

屋上庭園のそはのテーブルで
ジョッキとバーベキューをふりかざ

しながら△友情▽について論じたま
え

若い女性達のために

レナ川の畔でロシヤ娘がたべている
ような

ビロシキも用意されているホテルの
ビヤガーデン

君が誰を誘ってもNOといわれる筋
合はない

(綱代甲子朗)

★オリエンタルホテル ビヤガーデン メニュー

おのみもの
生ビール

ゴブレット	100円
中ジョッキ	150円
大ジョッキ	260円

ジントニック	150円
オレンジエイド	100円
ペプシコーラ	100円

お料理
バーベキュー

ビーフ、チキン、貝柱各	200円
フライチキン	200円
ハムサラダ	200円
串カツ	150円

チーズクラッカー
フランクフルト
ソーセージ
ビロシキ
おつまみ

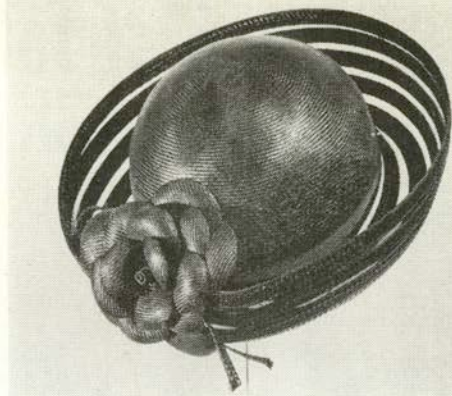
各100円

連日ハワイアンバンド アトラクション有

美しさを創る...

アスター・ニエーション

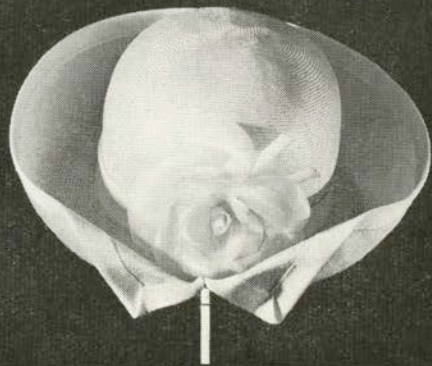
トア・ロード ③ 1818



婦人帽子

マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座3-2
TEL 神戸33-6711-3 TEL 東京535-5041





COTTON SLACKS

夏のお洒落を知って
いるキミなら必ず持
つていなければ、コットン
スラックスです。

新しくもクー本と思っ
てみるために。

ブルー、グリーン、ブラウン
ブラック、ホワイト...と
色をとりそろえました。

¥1800-2300

若人の服飾《マック》

MAC

★三宮本店 / 神戸センター街 ☎390895 ★トアロード店 / セ
ンター街西口 ☎390896 ★新聞地店 / 新聞地本通り ☎537688
★西神戸店 / 神戸デパート 1 F ☎62101 ★姫路店 ★京都店



世界の夢と
エスプリを集めて

Beniya

para fashion & glam study

婦人服飾

ベニヤ

三宮センター街 T. (39) 5528-9
さんちかタウン T. (39) 1204

自分の奇術への自信と不安とを胸に「ベトナム号」へと乗り込んだ。奇術はもうその日から始まった。船内での奇術においては、いくら俺の奇術が素晴らしいといっても、まかり間違っても一銭も帽子に投げ込みそうにない連中ばかりを相手に毎日演じた。俺にとっちは彼らは上陸後の練習台でしかなかった。そこで得たものは「マジッシャン」又は「アブダカドラ」という名前であった。神戸を出て18日目シンガポール港へ着いた。前に考えていた街頭奇術はあきらめなければならぬ。ただ何もせず人に道を聞いているだけで人が集まってくる始末、もし変な事を始めようものなら、どうなるか保障出来ない。店開きをあきらめシンガポールNo.1の奇術師を捜す事にした。すぐに「The Great wang」という人を見つけ、会いに行った。その日から4日間は奇術に明け奇術に暮れた。その間一日はシンガポールの副大統領の出席のもとで彼が演じるので助手として、のこのこ行っていた。身辺を警戒する警官にとがめられたが「日本の奇術師だ」というと簡単に中に入れた。すばらしい4日間の後に、クワラルンプールへ出発しなければならぬ日が来た。空港へ着いた時には、もう飛び立った後、仕方なしに次の飛行機ま



福岡康年

△立命館大学四年生△

「職業はマジッシャン
趣味は学生」

★東南アジアまかり通る
学生奇術
きまぐれ旅行



で待つ事にした。どこでも「職業は」と聞いて来ると「職業はマジッシャンで趣味は学生」と答える、かならずじやその奇術とやらを見せてくれと言う。いつも待時間を利用して演じる。するとかならず税関はフリーパスであるし、それが機内だと、無理を聞いてくれ、人より余分にサンドウイッチを持つてくる。奇術とはかくも有難きものである。とつくづく思った。クワラルンプールに着くとすぐ「テレビに出演してくれないか」とテレビ関係の人に言われた。俺はただちに断わった。まだテレビで人に見せるだけの自信がなかったからである。今にして思えば、その心臓の弱さを悔いているしだい。ただ空港で再び奇術を演じたおかげでマレーシアの奇術師の家まで空港の車にのせてもらった。彼の家に着いたその日から、晩になると何名かの奇術師がかならず俺を訪問して来るのにはまいった。その中にいつもイギリス人の女性が俺のすぐそばに座って見ていた。どうも俺を非常に気に入ったらしい様子であった。ただその女性がまだ満5才であったのが残念である。シンガポール、マレーシアはわりあい発達しているが、まだ独自の奇術を持つまでには至っていない状態であった。

神戸遊戯誌

33

水泳も他の遊戯、つまり、ヨットやテニス、ビリヤードなどと同様に、神戸では全国に先がけて始められたものだが、やはり神戸在住の外人の感化が大きかった。明治期からすでにみぬめ海岸（岩屋）にあったK・R・C（神戸外人クラブ）には、早くから水泳クラブができていて、ヨット・ハウスのあったところに海水をロープで区切って「海中プール」を作り、外人たちが泳いでいた。ところが、わが国では当時はまだまだ武道としての水泳術という観念が残っていて、一般の人々は自由に海中で泳ぐなどという考えにはなれず、外人の水泳姿を奇異の目で眺めるという状態を脱していなかった。だから、泳法も武術主体の古式泳法で、江戸時代各藩で行なわれていた××流泳法というものがそれぞれそのまま受

写真上は大正八年八月甲南小学校遠泳出発点、青屋浜。向って左端は藤井福子さん右端は浜野茂氏。
写真下は昭和40年8月大池プールサイドで藤井正太郎氏と右側浜野茂氏



水 泳 1
青 木 重 雄

けつがれて各地で教えられていた。これが西洋流の近代水泳（競技主体）へと一大転換を上げ始めたのは大正期も何年か過ぎてからで、従ってだれでもが西洋人と同様に大っぱらに海水浴をやり出したのは、大正末期ごろといってもよからう。

こう考えると、わが国の近代水泳の歴史もそう古いとはいえないわけだが、このレイメイ期の神戸の水泳界の開拓者でしかも大功労者といわれる人こそ、現在九十歳近くになってなお健在な藤井正太郎老である。藤井は古式泳法を近代泳法に変えるのに大貢献をした日本水泳界の代表者の一人ともいえるわけだが、もともと東京の名家（「竜角散」本家のむすこ）に生まれ、幼少時から隅田川で水府流の古式泳法を習い、のち道場を品川に作っ

た。ところが、京大医学部へ入学したのがキツカケとなつて、瀬戸内海へ出かけて来て泳ぐようになり、やがて知らん顔をして瀬戸内海で行なわれていた神伝流をおぼえ、お蔭で両方をミックスした新しい泳法を案出した。昔は各流派は互いに秘密を守って武芸を競っていたのだから、二つの泳法を身につけただけで革新的だった。このことが、以後彼が後輩たちを指導する教育材料として大いに役立ったのである。彼は京大を卒業すると阪神間へ来て、御影師範学校の正門前に藤井医院を開業したが、さっそく京大の学生を学校水泳の目的で深江の浜へ連れてきて教えた。つづいて御影師範の生徒を教え、さらに大正四年から神戸一中の生徒を教え出したが、このころの第一回生の一人に浜野茂氏（現在、仁川学院々長）がいる。その後さらに各学校の教員水泳の指導を御影海岸で始め、まず甲南小、第一、第二、御影小附属、住吉小などの教員を教えたが、当時はまだ鍛練的なにおいが残つていて、毎朝五時半から一時間キツチリと練習させた。こうしてしだいに水泳を学ぶ者の数はふえていったが、当時から昭和初年へかけて同氏から指導を受けた人の数はずいぶん多かった。全く彼こそ「神戸の水泳界の父」と呼ばれるにふさわしい存在だった。

さて、大正六年ごろになって古式泳法はようやく近代水泳にとつて変わり始めた。そして、古来のワン・ストローク泳法（ちんば抜き泳ぎと呼ばれていた）は急速にクロール泳法に変わり出した、ちなみに、このころ神戸外人クラブにはすでに二十ヤード・プールが設けられていて、クロールやブレストなど各種の外人の泳ぎが見られたが、彼らの泳法にはとくに系統だったものはなかった。当時の学校水泳は遠泳とワザとスビードの三種をカリキュラムにしていたが、遠泳がなかなか盛んで、遠泳者の付き添いの船には赤旗が立ち、太鼓が置かれ、激励のためドン、ドンと鳴らされている風景がよく見られた。小学生の遠泳は、芦屋川尻から東明（とうめいよう）海岸へかけての二十余キロで行なわれたものだった。旧

神戸市内の学校では室内小学校と神戸高工（西代）がトップを切つて学校水泳をやり出したが、大正末期になると、どこの小学校も水泳を課目のようにやるようになって、泳げない生徒はいくらになった。近ごろでは泳げない「金ヅチ」の青少年がかなりいるありさまだが、当時は学校で「自分は金ヅチだ」ということは、恥かしくてなかなか口にできないほどだった。昭和初期になると、須磨の海岸には、毎夏神戸市内の小・中・女学校をとりまげて二十校ぐらいの水練場がずらりと設けられて、壮観をきわめていた。当時は男子はすべて白のフンドシ、女子は黒っぽい、今から見るといかにも暑苦しく、野暮つたい海水着で身を包んでいた。

だが、当時の神戸の海は今日のような海水汚染など思ひもかけぬ清潔さで、東から西へかけての約四十キロの海岸線はどこも美しく、どこでも泳げた、神戸港内だけは危険なのでだれも泳がなかったが、川崎造船のドックでは泳ぐことができた。海の水が透き通つていて、泳ぎながら海中をのぞき込むと、テンコチやカレイが底の砂上にいるのがハッキリと見えるほどだった。

こうして神戸市民の間で水泳は大いに盛んとなったが、お蔭で神戸には学校水泳のほかに一般向きの水練学校がたくさんできて、夏の間水泳を教えた。須磨の楽水会（のちにはヨット・クラブとして有名）などはその代表的なものだった。大正九年に「千鳥会（ちどりかい）」という名の婦人ばかり（といつても高女生がほとんどだった）の水泳クラブが御影に誕生したが、これこそ全国で初めての婦人水泳会だった。当時、さすがは国際都市コウベの女性らしい「勇敢な」水泳クラブとして、世間の人々の注目を集めたものだった。のち須磨にも同名の水泳クラブができたが、御影は白の千鳥、須磨は赤い千鳥のマークをつけていた。御影の千鳥会のメンバーだった和田千鶴子さん（御影師範の和田初代校長の娘）が現在も健在ですでに六十歳の年配だが、今日でも元気に泳いでいる。

動物園飼育日記1

亀井一成

へビールと子ぐま



「ヒグマの子が死んだ」という知らせで、猛獣舎へ走った。

子グマは生後三カ月。いたずらざかりの子犬ぐらいになっていた。親は九回も子を育て、多産記録を誇っている。どうしたことなのか、オス、メス、双児のいずれの方なのか。ふと、昔聞いたおふくろの言葉を思い出す。

「同じに生れても、男の子より女の子の方が育てやすい」やはり今も、元気に親の胸毛にもぐりこみ、うまそうに乳を飲んでいるのはメス。死んだ、と通路に出されていたのはオスだった。と、その時、私は冷えきった子グマを抱く手に、ビクリとわずかなケイレンを感じた。

「まだ生きている」心音を確かめながら、事務室へかけもどった。

ストープをたき、哺育箱に電気アンカーを入れた。呼吸は一分間に一回も現われない。人工呼吸をほどこしながら、強心剤を使うことを思いついた。しかし、あいにく保管者が休務、とっさに浮かんだのがビールだった。

強心剤の併用と同じに、白湯やブドウ糖を胃内に注入するのも時によつては有効だ。手早くビールを湯で割った「ビール湯」を三回、つづいて人工乳をカテーテルで胃内に注入してみた。

休む間もなく手伝ってくれた同僚たちの、マッサージも効いた。奇蹟に近かった。分離後二十二時間目、母乳不足と長雨とに倒れた子グマが、パッチリ目をあけ、わずかに鳴き声さえ出しはじめたのだ。

以来一日三回の哺乳と五回の大小便を、手のマッサージでさせ、若い飼育係の協力で子グマの「ゴロー」はス



子グマにミルクを注射器でのませる亀井さん
〈読売新聞提供〉

タスク育った。ゴローは私たちのベットだった。

しかし、このまま人工で育てることは、ゴローにとって幸せとはなるまい。さりとて親元に戻すとしても分離してすでに二十日。無造作に返すことは危険だ。私は機会の訪れるのを待った。

オリ越しの親子対面を何度も試みる一方、親の傍で育っている妹グマよりも早く離乳になれさせる餌づけを始めた。かりにうまく親の元に戻ったとしても、一カ月のハンディで体力差がある。また存分の母乳を飲めないかも知れない。そんな時、親と同じ難食煮込み餌を食べることが出来れば、という私の考えであった。

さらに十日。ゴローは離乳も進み、自分でおシッコもできるようになった。乳さぐりを思い出させる毛皮や、やわらかな毛布、タオルにしがみつく姿にも、変化が現われてきた。ゴローは、がぜん遊びにあらあらしさを感じさせた。

私は、わざと雨降りを待った。お客さんのいないほうが、余分な刺激を与えずにすむ。ついにその日が来た。いつもより早くオス部屋を掃除してメス親と妹グマをそこへ移し、メス部屋の糞尿を何一つ残さず水洗して新しい敷ワラを入れた。

いよいよゴローを戻す機会が来た。もし失敗すれば、その場で食い殺すかも知れない。オリ越しとはいえ三回の親子対面で自信を持った私も、一マツの不安はあった。私はゴローの体に「親の最も新しい糞と尿」を丹念になすりつけてやった。

「あっ！ 母グマがゴローをなめはじめた」

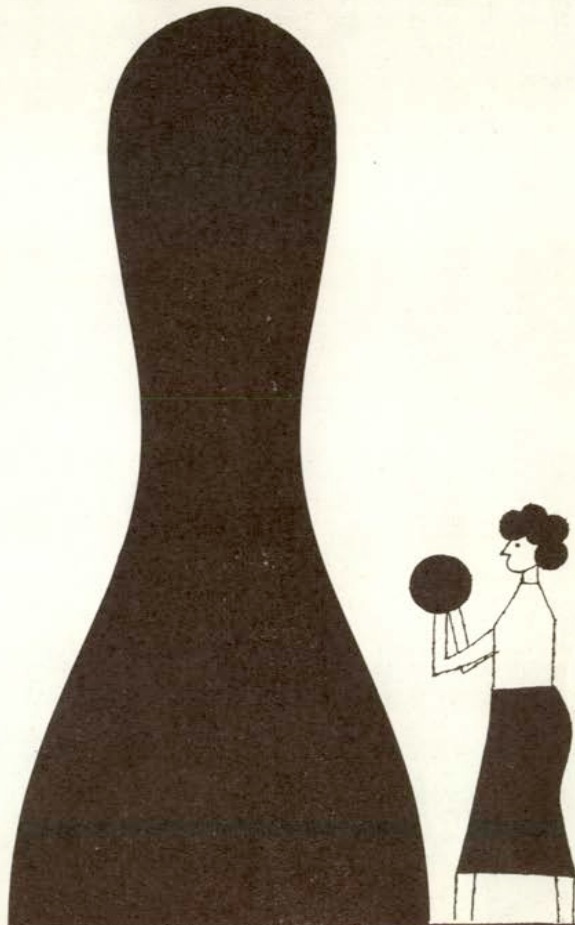
祈る気持ちで見つめる私の目の前で、顔も、口も、体も、尻も、産み落とした時のように、母グマはゴローをなめまわし、深々と腹の下に抱きこんでくれたのである。いま、妹グマとゴローが元気にたわむれる姿を見るたびに、私はその瞬間の、情愛あふれる親子の再会を思い出す。そして同時に、暖かいビールのことも……。

(神戸市立王子動物園飼育係 写真も)

ジャベスターレーン

神戸市生田区江戸町95（花時計西側）

(39) 4 1 6 5 代表



本場コーヒの高い香りが流れる
UC ウエシマコーヒショップは
さんちかタウンの
オアシスです



UC ウエシマコーヒショップ
〈さんちかメンズタウン〉
TEL 39-5677・0678

UC 上島珈琲本社直営
〈神戸駅前〉 34-3636-9



ジョーゼットの ワンピース

福富芳美

〈神戸ドレスメーカー女学院々長・大丸顧問デザイナー〉

フラワーロードは新しい神戸っ子の

お気に入りの散歩道。

勢いよく飛ぶ噴水のしぶきに

初夏の風がさわやかです。

今年はジョーゼット風の布地が

若い人の間で好まれています。

柔らかくすける美しさが、

甘いふんいきを、女らしさを

漂わせてくれるからでしょう。

左頁の写真は、黒地にピンクやクリーム

グリーンなどの若々しい大きな花の

プリントで、テトロン100%のジョーゼット。

袖だけ、無地のさらに

薄い黒のジョーゼットで

ふんわりとした長袖をつけました。

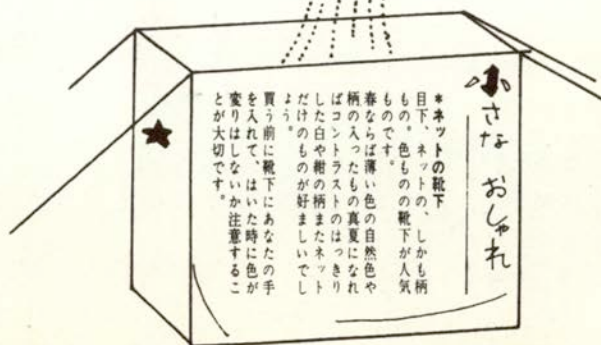
鮮やかなプリントにシンプルなデザイン。

そして袖のすけてみえる

ジョーゼットのワンピースは

初夏の季節にふさわしい

ロマンチックな装いです。



＊ネットの脱下
目下、ネットの、しかも柄
もの。色ものの脱下が人気
ものです。
春ならば薄い色の自然色や
柄の入ったものの真夏になれ
ばコントラストのはつきり
した白や紺の柄またネット
だけのものが好ましいでし
ょう。
買う前に脱下にあなたの手
を入れて、はいた時に色が
変りはしないか注意するこ
とが大切です。

＊今月のマドモアゼルは難波勝子さんへ22才。

芦屋女子短大を卒業して、

現在小川洋服学院の専攻科に席をおくお嬢さん。

車の話になるとたんに、ゴキゲンな表情になるドライバート

目下の愛用車はコロナ。

おしゃべりをしてガツカリする美人が多いけれど、

彼女の話しかたは大変魅力的。

そしてはつらつとした、

健康美あふれるマドモアゼルです。

A black and white photograph of a woman with short dark hair, wearing a dark dress with a large floral pattern and sheer long sleeves. She is standing on a paved plaza in front of a large, multi-story building with a grid of windows. To her left is a large fountain with several water jets. A black banner with white text is superimposed across the lower part of the image.

mademoisell

kobe



夏を装う…サングラス
サングラスは夏の強烈な太陽からあなたの大切な眼をまもります。そして、あなたの魅力をつくります。
ビクニック、ハイキングのあなたには、少し濃い目のレンズのサングラスをおすすめします。

強烈な太陽がカッと白い砂浜をこがす海へのあなたには、思いきって大胆なフ



レームのサングラスが、あなた自身も気づかなかったあなたの新しい魅力をひきだしてくれます。

すべてのサングラスのおもめは、フランス、ドイツ、各国の最新型サングラスを豊富にとりそろえて、あなたのおいでをお待ちする大丸前の服部メガネ店へどうぞ。

服部メガネ店

大丸前 TEL <33> 1123



カメラ／杉尾友士郎

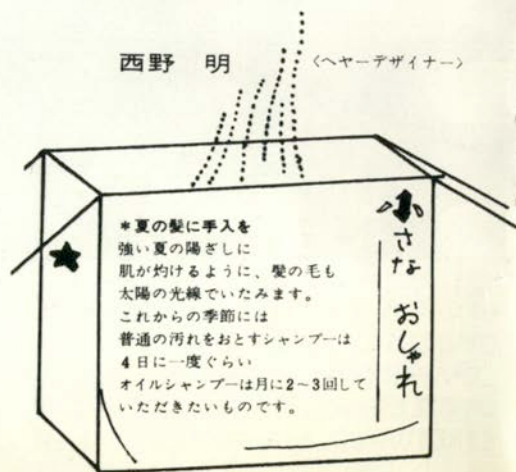


オプアートの シニヨンスタイル

白と黒のオプアートの
アクセサリを
シャープに飾った
アップスタイル。
シニヨン〈つけ毛〉は
ウェーブなどのない
日本の髷の感じさえる
結びあげかたです。

西野 明

〈ヘアーデザイナー〉



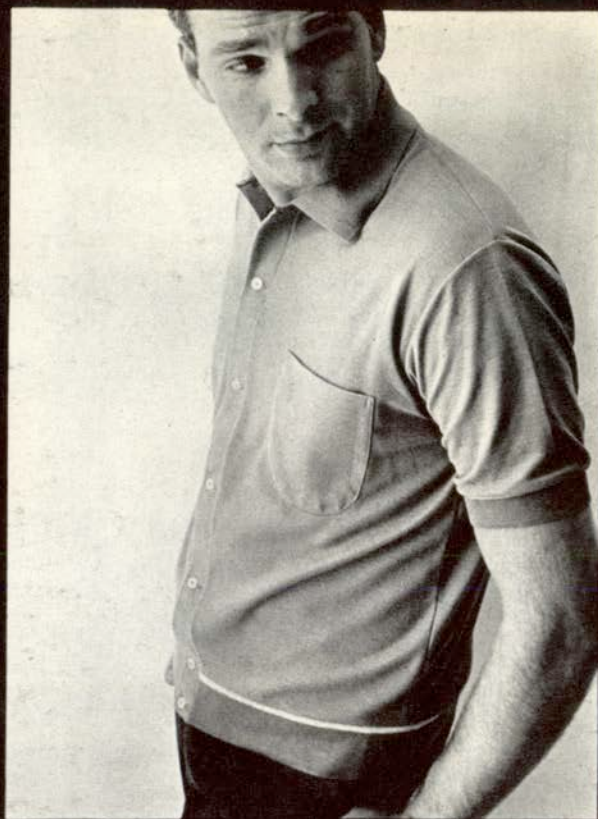


SUMMER COLECTION

BAMPTON•CARDIGAN ¥ 4,800
DYNAMIC•STRETCH•SLACKS ¥ 5,700
LE•SPORTS•POLO ¥ 1,800
DRIZZLER•GOLFER•JACKET ¥ 2,900
STRETCH•GOLFER•JACKET ¥ 4,950



世界の
スポーツウェア
マックグレガー
の気品



The WONDER-FULL

by **McGREGOR** 特約店

men's apparel

サン.サカイ
神戸元町2浜側

TEL ③ 7885

風を切る 水を切る 夏の海に飛ぶ

カメラ／緒方しげを



化粧品 の 店
絹屋化粧品店

西店・三宮柳筋 ㊟5778
東店・甲南本通 ㊟0250

おもちゃの店
カ メ ヤ

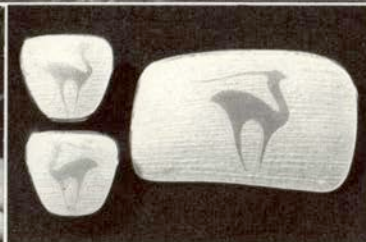
元町通3丁目 ㊟0090
元町通1丁目 ㊟0768
三宮センター街 ㊟4969
さんちかタウン ㊟4045

ACCESSORY SHOP
T A Z U
太 津

三宮本通 ㊟4780

男子洋品の店
フ ナ キ ヤ

元町通3丁目 ㊟3617



BEAUTY SHOP

阪神美容室

川田つるる経営

大丸前 ㊟6264

元町阪神地階 ㊟5592

紳士シャツ

大和屋のシャツ

三宮センター街 ㊟6956

FASHION ACCESSORY

A K I R A

三宮センター街 ㊟4895

舶来服飾

マルエス

元町通3丁目 ㊟6541



DONQ

フランス菓子
コーナー

5.6月 カスタードプリン

1. カaramelソース

小型フライパンに砂糖大さじ5杯、水大さじ2杯を入れて火にかけまぜながらうすい焦げ色がついたら火より下し、水大さじ3杯入れてもう一度火にかけ、煮立ったら下します。

(水を入れる時、カaramelが、飛び散って、火傷する事がありますから注意して下さい) プリン型にカaramelソースを熱いうちに小さじ1杯位流します。

2. プリン生地 牛乳 5.4dl(3本分)

卵 中 5コ

砂糖 150g

バニラエッセンス 1滴

ボールに卵、砂糖を入れて竹ばしでよくほぐしておきます、生地作りの時は泡立てないように注意して下さい。その中へ少し温めた牛乳を加えてよくまぜます。出来た生地を裏漉しするとなめらかな生地が出来ます。エッセンスを入れて、プリン型に流します。

オーブン皿に並べてお湯を皿の7分目位入れて中火で約25分蒸し焼きします。

注意

- ① 生地に気泡が出来た時はオーブンの温度が高いか焼きすぎで味も落ちます。
- ② プリンを、型より出す時は、生地の上面周囲を押えて型ばなれを良くしてから、なめめにもって軽くふって下さい。
- ③ 温、冷、自由ですが、季節のフルーツや生クリームを絞りますとデザートになります。

*あなたとパリを結ぶ!

フランス菓子

本店 三宮センター街
さんちかメイゾンドンク
芦屋店
サンドウィッチバーラー
フランスパンコーナー
須磨寺店
垂水店

TEL 09 5481~4
TEL 09 4879
TEL (2) 5137
TEL 09 5485
TEL 09 4985
TEL 011 8752
TEL 07 3603

